

キャラクター名
玄巳木 佐紋(くろしき さもん)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	
	オルクス					
オプション		年齢	67歳	性別	男	
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	31	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	3	1	0			4	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
8dx@7+1 影鯨-Orca-	RC	8r+1		13		CL+シャド+無形+アニマル+大地
9dx@7+1 影鯨-Orca-(60%)	RC	9r+1		13		CL+シャド+無形+アニマル+大地
10dx@7+1 影鯨-Orca-(80%)	RC	10r+1		13		CL+シャド+無形+アニマル+大地
12dx@7+1 影鯨-Orca-(100%)	RC	12r+1		16		CL+シャド+無形+アニマル+大地

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	
コネ:要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:傍らに立つ影P		N		
テレーズ・ブルムP	好奇心	N	隔意	
影鯨(Orca)	P	信頼	N	脅威
ピース	P		N	
ジャック	P		N	
熊飼	P		N	
はり	P		N	

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CL:ウロボロス	3	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-LV							
シャドースクラッチ	5	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果:	攻+[LVx2]							
無形の影	1	4	Xジャー	-	-	-	-	
効果:	【精神】で判定できる。1回/ラウンド							
猛り喰らうもの	1	3	Xジャー	-	単体	対決	リミット	
効果:	攻撃のダメージを+2D(+1D)する。1回/ターン							
アニマルテイマー	3	3	Xジャー/リア	-	-	-	-	
効果:	ダイス+[LV+1]個							
要の陣形	3	3	Xジャー	-	3体	-	-	
効果:	対象を3体に変更する。LV回/ナリ							
大地の牙	1	1	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻+[LV+2]。ドッジ判定ダイス-1。同イン不可							
Dロイス:氷の塔	5	4	Xジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果:	攻+[LVx3]。同イン不可							
影絵芝居	★							
効果:	影を自由自在に動かせる							
まだらの紐	★							
効果:	影で偵察できる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

市内に住むオーヴァードの老人。
一見近寄りたがたい風貌をしているが、冷静沈着で老練士然とした性格。

元UGN日本支部海上警護部隊隊長。通称"提督"。
隣国から密入国オーヴァードや領海内で行われるレネゲイド関連の犯罪等を取り締まっていた。
顔と身体に至る所に現役時代に負った傷の跡が残っている。
その豪放磊落な性格と自分の船に乗った人間を家族と称する面倒見の良さから部下に慕われた指揮官だった。
現場を去った今でも当時の部下や近しい間柄の人間からは、親しみを込めて"提督"と呼ばれている。

現役時代は、オルクスの能力を使用して、
相棒である「サラマンダー」の能力に目覚めた鯨のEXレネゲイド、通称"オルカ"を操作し、
その機動力と幅広い戦術によって海上戦においては無類の強さを誇っていた。
しかし、10年ほど前の戦いで敵の攻撃から佐紋を庇った事でオルカが死亡、
それを受けて、佐紋は現役から退いた。

それから数年、平和だが少し退屈な日常を過ごしていた佐紋の家を、FHの集団が襲う。
相棒を失い、現役を退いた身では抵抗できるはずもなく追い詰められてしまうが、
そんな状況の中で、佐紋は自分が微笑んでいることに気付く。
日々に対峙する戦いの高揚感と、人々の日常を守る使命を得た充実感が彼を満たしていた。
それに気づいた直後、佐紋の影が急速に膨張して彼を飲み込んだ。
影に飲み込まれた先で彼は、かつての相棒"オルカ"と再会する。
"オルカ"は肉体が減んだ後もレネゲイドのみの存在として佐紋の周囲を彷徨い続け、佐紋に再び闘志が宿るのを待っていたのである。